日本図書館情報学会会報

No. 195　　2023年9月

日本図書館情報学会事務局（編集：総務委員会）
〒252-0383　神奈川県相模原市南区文京 2-1-1
相模女子大学　金井喜一郎研究室内
（事務局業務に関する問合せ先）
(株)ガリレオ　学会業務情報化センター内　日本図書館情報学会
E-mail：office@jslis.jp　　学会ウェブページ：http://www.jslis.jp/
ゆうちょ銀行　口座番号＝00160-5-0045759　口座名義＝日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行019店　口座番号＝当座0045759　口座名義＝日本図書館情報学会

2023年度会員集会開催のお知らせ

会長　岸田 和明

2023年度日本図書館情報学会会員集会を，下記のとおり，第71回研究大会の二日目に開催いたします。正会員ならびに学生会員のみなさまにおかれましては，多数ご出席いただきますよう，ご案内申し上げます。

本会報には，2023年度定例（通信）総会の投票に際して寄せられたご意見やご質問に対して，常任理事会としての考え方に基づいて回答しています。会員集会では，これらのご意見に基づく発展的な意見交換をしたいと存じます。また，定例（通信）総会の議案とは直接関係がない事項につきましても，会員のみなさまのご意見を頂戴できたらと存じます。

よろしくお願い申し上げます。

記

日 時：2023年 10 月 8 日（日）12:50～14:15
会 場：愛知淑徳大学 星が丘キャンパス 5号棟5階 55A教室
次 第：
1．会勢報告
2．2023年度定例（通信）総会の議案投票結果報告
3．委員会等報告
4．意見交換，質疑
5．その他

2023年度学会賞等授賞式

会員集会の開始前の 12時50分より，同会場において 2023 年度学会賞・論文賞・奨励賞の選考結果を発表し，授賞式を行います。ならびに，学会活動に貢献された方への感謝状の贈呈を行います。ご

臨席いただきますよう，お願い申し上げます。

2023 年度定例(通信)総会の投票結果

有権者数 603（2023 年 6 月 1 日現在）
投票総数 157 （内訳：郵送投票 0，電子投票 157）
有効投票数 157
有効投票率 26.0%（参考：2022 年度 38.20%）
無効投票数 0
第一号議案 2022 年度事業報告・事業監査報告
第二号議案 2022 年度決算報告・会計監査報告
第三号議案 2023 年度事業計画案
第四号議案 2023 年度予算案

電子投票

	第一号議案	第二号議案	第三号議案	第四号議案
賛	157	157	157	157
反	0	0	0	0
白票	0	0	0	0
無効票	0	0	0	0
合計	157	157	157	157

郵送投票

	第一号議案	第二号議案	第三号議案	第四号議案
賛	0	0	0	0
反	0	0	0	0
白票	0	0	0	0
無効票	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

日本図書館情報学会規約第 11 条第 1 項(正会員の 5 分の 1 以上:121)により総会は成立しました。第一号議案から第四号議案については, 第 11 条 2 項(出席正会員の過半数: 79)により, 承認されました。よって，全議案は成立しました。

正会員から寄せられたご意見など（回答は常任理事会による）

1. メタ科学の位置づけをもちまた「批判的情報リテラシー」を研究やミッションの一つに置く図書館情報学の学会が五類に移行したからといった典型的な後件肯定の過誤に基づくようなかたちでリスク管

理を適切にせず対面での学会等を開催することは不適切です。対面での安全確保については，CDC の基準やとりわけ空気の管理は ASHRAE が初めて感染症の基準を提案したところですので，そうしたものを参照し適切なリスク管理のもとでの学会等運営をお願いいたします。
(回答)
研究大会や研究集会等の開催にあたっては，CDC の基準類を検討しつつ，運営を進めます。

2. 繰越金がとても多くなっているのが気になります。　今後の会員数の増減の影響を最小限にとどめ安定的な学会運営のために必要であることは十分に理解していますが，ある程度の上限を決め，それを超えた場合は，積極的に学会員に対して何らかの形で還元するということを考えても良いのではないでしょうか。（企業の内部留保の問題と同じです）
(回答)
経常的な活動費を除いた余剰金を用いて，学生会員の学会費補助や過去の論文等の電子化事業を行っています。これらの余剰金は，貴重な学会費を主財源とするわけで，この点で「無駄遣い」にならないよう，有効活用を図っていきます。

3. 会計監査の方が言われている「学会の守備範囲は狭い図書館情報学を踏み出して広げる必要があるように思います」に強く賛同します。私自身，専門は教育工学ですが，様々な関係から，図書館情報学に関するシンポジウムへの登壇や研修講師，授業なども担当させていただきそれなりの月日が経ちましたが，とても連携しやすい分野同士なのではと感じました。今後の本学会の発展を考えたとき，まず，理事など，学会運営の中枢に，私のような図書館情報学をメインの専門としていない方を入れることを考えてみても良い時期に来ているのではないか，と感じました。
(回答)
ご指摘の中にありますように，シンポジウム等には，これまでも図書館情報学以外を専門とする方々にご協力をいただいてきました。今後も，関連分野との連携の重要性について意識しつつ，シンポジウム等の企画，あるいは学会運営を進めていく必要があると思われます。

その他，事務局または常任理事会への激励が 2 件ありました。

役員会等の記録

2023 年度第 2 回常任理事会（開催記録）
日時：2023 年 7 月 8 日（日）13:00～14:00
場所：Zoom によるオンライン会議
出席者：岸田，三浦，小山，浅石，大場（記録），呑海，須賀，金井
欠席者：なし
1. 定例（通信）総会結果の確認
2. 各委員会等に関する報告・協議事項
3. 今後の活動

2022 年度第 3 回常任理事会（開催記録）
日時：2022 年 9 月 16 日（日）13:00～14:40
場所：Zoom によるオンライン会議
出席者：岸田，三浦，小山，浅石，大場（記録），呑海，須賀，金井
欠席者：なし
1. 各委員会等に関する報告・協議事項
2. 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与
3. 常任理事・副会長の選出に関する規約改正について
4. 2023 年度会員集会の次第整理
5. 2023 年度第 2 回理事会の議題整理

『発表論文集』全文 PDF ファイルの遡及的なウェブ公開

研究大会および春季研究集会の『発表論文集』につきましては，最近では PDF ファイルをインターネット上で公開しておりますが，過去分も順次，遡及的に PDF ファイルに変換し，学会ホームページからアクセス可能にする予定です。

今年度は，2019 年度～2015 年度の 5 年分の春季研究集会および研究大会における『発表論文集』の PDF 化および公開を進めることを計画しています。この間，『発表論文集』に原稿を掲載されたかたには，次の点にご留意いただければ幸いです。

・実際の紙媒体での冊子体をそのまま PDF ファイルに変換します。修正はできません。
・許諾書をご提出いただくような手続きは取りません。公開に問題があれば，学会事務局までご一報ください（https://jslis.jp/contact/）。部分的に削除します。

なお，『発表論文集』に掲載されている広告等は含まれません。

（常任理事会）

日本図書館情報学会編『図書館情報学事典』の編集・刊行について

『図書館情報学事典』編集委員長　根本彰

2023 年 7 月 30 日に日本図書館情報学会編『図書館情報学事典』（丸善刊, A5 判, xxiii, 726p. 函入り）が刊行されました。この報告は，『日本図書館情報学会会報』No.182（2020 年 9 月）の中間報告に続く，最終報告です。

この事典は本学会創立 70 周年を記念して企画編集を行いました。2019 年夏から準備会を開催し，2020 年度から編集委員会を立ち上げました。すでに報告しておりますように，編集幹事会で中心になった 7 人の会員に加えて編集委員を 10 人の会員にお願いし，さらに編集顧問を 3 人の方に依頼しました。執筆者の総勢は会員を中心に 178 人です。

学会編集のものとして『図書館情報学ハンドブック』（第 2 版, 1999）が同じ丸善から出されていましたが，今回の事典はそれを継承しながらもかなり性格を変えています。ハンドブックが 20 世紀までの

印刷出版・パッケージコンテンツ中心の図書館情報学を前提とし，実務的な知やスキルを体系的に提示するという性格を持っていました。それに対して，今世紀に入ってデジタルネットワーク社会に移行したことにより，コンテンツがネットワークで入手可能な状況のもとで図書館情報学自体にも大きな変化が見られます。今回の事典は大きくは以前の体系に基づきながらも，他分野との境界があいまいな不定形の知やスキルを記述し，また，体系的な記述よりも執筆者の自由な展開を可能にして読み物としての性格をもたせようとしました。

全体としては 10 部門にして，部門ごとの編集体制をつくりました。基本的に見開き 2 ページで 1 項目とし，4 ページや 6 ページの項目もつくっています。中項目レベルで 287 項目，小項目を入れると全体で 339 項目になります。部門や項目の性格によりますが，従来型の知やスキルを記述したものと，新しい情報環境を反映させたり図書館情報学の概念を拡張させたりした試論的な項目も含まれます。

丸善は同じ体裁で各分野の専門事典を多数刊行しており，今回の事典も基本的にはその編集方針を受け継ぎ編集スタッフの支援を受けています。項目ごとに参考文献をつけ，ページ内の引用・参照文献は巻末に項目順にまとめているのはその方針に基づきます。ただし，図書館情報学の専門学会であることもあり，項目間の参照関係の指示や索引作成に特徴をもたせるために，編集委員会に索引チームを設けて念入りに方針を策定した上で作業を行いました。

編集委員一同は，この事典が 20 世紀までの図書館情報学を踏まえた上で，21 世紀の新しい展開に対して対応し，今後に向けて一定の指針を与えるものになることを信じて世に送り出すことにしました。どうか忌憚のない叱正，批判をいただき，この事典を元に新しい研究領域の議論が展開されることを期待します。

参照：「図書館情報学事典」丸善出版
https://www.maruzen-publishing.co.jp/item/b304955.html

丸善出版株式会社
2023 年 8 月 10 日

お詫びと訂正

『図書館情報学事典』の「執筆者一覧」（v, vi）の記載に誤りがございました。
謹んでお詫び申し上げます。正しい表記は以下の通りです。

(v) 頁

・右段 11 行目
小野寺夏生先生の肩書が「客員研究者」となっておりました。
正しくは「客員研究官」でした。

・右段下から 3 行目
國本千裕先生のご所属が「筑波大学」となっておりました。
正しくは「千葉大学アカデミック・リンク・センター」でした。

・右段下から 2 行目
久野和子先生のご所属が「立命館大学大学」となっておりました。
正しくは「立命館大学」でした。

（vi）頁
・左段下から 6 行目
鈴木佳苗先生のご所属が「千葉大学アカデミック・リンク・センター」となっておりました。
正しくは「筑波大学」でした。

委員会・事務局より

J-STAGE 上での『日本図書館情報学会誌』の閲覧方法について

発行後 1 年以内の『日本図書館情報学会誌』に掲載された論文を J-STAGE 上で閲覧するには，J-STAGE のウェブサイトにてサインインする必要があります。サインインあたっては，購読者番号とパスワードの入力が求められます。購読者番号は学会の会員番号（4 桁の数字）で，パスワードは入会当初のパスワードになります。会員番号や入会当初のパスワードが不明の場合には，事務局（office@jslis.jp）までお問い合わせください。

（事務局）

2023 年度の会費納入について

2023 年度の会費払込用紙は 6 月号の学会誌に封入されておりますので，そちらを利用して支払をお願いいたします。

未納会費の納入について

2022 年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2021 年度までの会費を未納の場合は，2022 年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお，会費を 3 年滞納した会員（学生会員は 2 年）については，その年度末（3 月 31 日）に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。また，会費を 1 年滞納（当該年度末を超えて滞納）した場合は，機関誌の配付を一時停止します。

そのほか，学生会員で 2023 年 4 月以降に所属が変わり正会員へ変更となる方については，判明後，すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が 2,000 円から 8,000 円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いします。

【振り込み先】
ゆうちょ銀行　口座番号＝00160-5-0045759　口座名義＝日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行 019 店　口座番号＝当座 0045759　口座名義＝日本図書館情報学会
なお会費は，下記のサイトへログイン後，クレジットカードによる支払い（もしくは決済）が可能で

す。

https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS

ログイン後,「オンライン決済へ進む」を押していただき，クレジットカード情報をご入力いただき，「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

（事務局）

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所，電話番号，所属先，メールアドレス等の変更については，学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム（SOLTI）から直接変更していただくか,「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき，事務局（office@jslis.jp）までメールでお送りください。

また会員種別の変更については，(1) 正会員から学生会員への変更の場合，当該年度の 4 月 20 日までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても，その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合，随時，事務局で申請を受け付けます。ただし，受付の時期によっては，正会員の権利の行使が制限されることがありますので，ご注意ください。また，受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお，退会については特に書式はありませんので，電子メールにて，退会理由を併記のうえ，事務局（office@jslis.jp）までご連絡ください。毎年 3 月 20 日までにお申し出がない場合，翌年度末での退会となり，1 年分の会費請求が発生しますのでご注意下さい。

（事務局）

学会受領資料

紙幅の都合により，図書のみ記載しております。（編著者名の五十音順）

- 伊藤民雄 著『探すツール：図書館，出版，メディア書誌の書誌』日本図書館協会，2023
- 岩猿敏生 著『日本図書館史概説』新版，日外アソシエーツ，2023
- 金沢みどり 監修・著，雪嶋宏一 監修，河村俊太郎 著『読書と豊かな人間性』 勉誠出版，2023
- 情報科学技術協会 監修; 南山泰之 編; 池内有為［ほか］著『オープンサイエンスにまつわる論点：変革する学術コミュニケーション』樹村房，2023
- 谷口祥一 著『知識資源のメタデータへのリンクトデータ・アプローチ』勁草書房，2023
- 日本図書館研究会 編『日本図書館研究会の 75 年：日本図書館研究会のあゆみ 1996-2021』日本図書館研究会，2023
- 日本図書館研究会学校図書館史研究グループ 編著『塩見昇の学校図書館論：インタビューと論考』日本図書館研究会，2023
- 松井健人 著『教養・読書・図書館：ヴァイマル・ナチス期ドイツの教養理念と民衆図書館』晃光書房，2023
- 未来の図書館研究所 編『図書館とコミュニティアセット』（未来の図書館研究所調査・研究レポート 2022，第 6 号）未来の図書館研究所，2023

・　村上美代治 著『学術情報流通の危機と対策 1914～1952 年 : 大学図書館，文部省の取組みを中心にして』村上美代治，2023

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には，可能であれば事務局（相模女子大学金井研究室）まで 1 部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

（事務局）